

1 はじめに

入間市は、昭和41年11月1日に埼玉県内で25番目の市として誕生し、平成28年に市制施行50年（半世紀）という大きな節目の年を迎えました。

この節目の年を市民の皆さんと祝い、これまでの50年を振り返るとともに、次の50年に向けて様々な記念事業を展開しました。

2 記念事業の検討経過

市制施行以来、記念事業は5年毎の節目の年に取り組んできましたが、50周年においても平成27年1月に庁内検討推進委員会を設置し、同年3月に職員等から記念事業の提案（アイデア）を募り、庁内検討推進委員会において4月から「簡素な中にも創意工夫により入間市らしさをアピールできる事業」を基本的な考えとし、本格的に検討を開始しました。

その後、市民の皆さんから記念事業に関する貴重なご意見を伺うため、同年8月に市民意見交換会を開催し、そこで提案された意見を反映したうえで、更に庁内検討推進委員会で検討を重ね、最終的に記念事業の候補を決定しました。

3 記念事業の基本方針

記念事業の実施にあたっては、現在の社会情勢や厳しい財政状況の中、行政改革長期プラン後期実行計画に基づき、「簡素な中にも創意工夫により入間市らしさをアピールできる事業」を基本的な考えとし、市民と協働で取り組むことを位置づけました。

4 記念事業の視点

庁内検討推進委員会で記念事業の内容等を精査していく中での着眼点として、次の3点としました。

- (1) 市の特性や魅力を生かした事業の展開
- (2) 市民の心に残り、未来に展望できる事業の展開
- (3) 市民が誇りと愛着を持てるまちづくりの促進に繋がる事業の展開

5 記念事業の構成

市制施行50周年を祝う事業を分かりやすく区分するために、次の3つの構成としました。

(1) 記念事業

市制施行50周年を記念して特別に行う事業で、この年のみ或いはこれを契機に今後続けて行きたい事業となっており、実施する事業の中で核となるもの

(2) 冠事業

市又は団体主催の事業で「入間市制施行50周年記念」の冠をつけて実施することが適切な事業

(3) PR事業

記念事業及び冠事業として提案された事業の中から、市制施行50周年を広くPRする事業を選考し、PR事業として位置づけたもの

6 記念事業の実施期間

平成28年1月1日から平成28年12月31日までの1年間

(1) 記念事業 平成28年4月1日から平成28年12月31日まで

(2) 冠事業 平成28年1月1日から平成28年12月31日まで

7 記念事業の検討・推進体制

(1) 庁内検討推進委員会

市制施行50周年を迎えるにあたり、記念事業の基本方針をはじめ、記念事業の内容の検討及び円滑な事業の推進を図るために設置しました。

構成メンバーは各部の次長の職にある者等（12名）をもって組織し、これまで計9回にわたり記念事業の検討及び事業の推進を図ってきました。

(2) 市民意見交換会

市民団体の代表者（20名）で構成し、庁内検討推進委員会で検討した内容について市民目線から見た意見を聴取し、市制施行50周年記念事業の更なる推進を図りました。

8 記念事業の提案状況

全庁的に記念事業の提案を募ったところ、市及び民間団体から96件の事業提案をいただきました。

また、市民意見交換会では市民から新規事業の提案に関する意見を2件いただきました。

その他として、市制施行50周年を記念する市民提案型協働事業を募集したところ、民間団体から2件の提案をいただきました。

(1) 記念事業 47件

- ① 市からの提案 38件
- ② 民間団体からの提案 7件
- ③ 市民意見交換会での提案 2件

(2) 冠事業 40件

- ① 市からの提案 32件
- ② 民間団体からの提案 8件

(3) PR事業 11件

- ① 市からの提案 10件
- ② 民間団体からの提案 1件

(4) 市民提案型協働事業 2件

9 記念事業の選定結果

市及び民間団体等から提案のあった事業について、庁内検討推進委員会で検討した結果、最終的に次の事業が決定しました。

なお、事業の名称や実施時期等については、別途一覧表のとおりとなります。

(1) 記念事業 14事業

(2) 冠事業 28事業

(3) PR事業 9事業

10 名称等使用申請・承認状況

市民団体等が実施するイベントにおいて、「市制施行50周年記念」の冠名を付けて、市制施行50周年を一緒に盛り上げていただける事業を募集したところ、128件の申請があり、すべての事業を冠事業として承認しました。

なお、事業の名称や実施時期等については、別途一覧表のとおりとなります。

11 ロゴマーク及びキャッチフレーズ

市制施行50周年を迎えるにあたり、イメージマークとなる記念ロゴマークとキャッチフレーズを募集したところ、ロゴマークは13作品、キャッチフレーズは9作品の応募がありました。

その応募作品の中から、市の選考委員会によって次の作品に決定しました。



今、未来が始まる時。



▲作品の作者と記念写真

【作品説明】

「5」部分の葉は狭山茶の新芽、下部の半月状の部分は茶碗をイメージしました。円の中に入間市のシルエットを入れることで、緑に囲まれた調和ある市を表現しています。

12 PRキャラクター

市制施行50周年の記念事業を盛り上げるために、市の魅力やイメージアップなどを目的に誕生した新たな観光大使「いるティー」を市制施行50周年のPRキャラクターとして任命しました。



▲任命書もらった いるティー



▲タスキを掛けて いるティーポーズ

13 PR用品

数多くのPR用品を作成し、市内外に市制施行50周年をPRするとともに記念事業を盛り上げました。



▲市庁舎の懸垂幕



▲入間市駅前の横断幕



▲各種事業でも活用したのぼり旗



▲各窓口に設置した卓上ミニのぼり旗



▲記念ピンバッチ



▲記念バックボード



▲記念シート



▲オリジナルカレンダー